

第1章 大学と情報と図書館

大学での学習研究に必要な情報は、大学図書館の資料や情報を利用することで、効率的に得ることができます。

大学図書館の特色は何でしょうか。そして東北大学の図書館では、どのようなサービスを受けることができるのでしょうか。



1.1 大学の学習・研究と情報

1.1.1 大学図書館の役割

大学生としてあるいは研究者として、大学での学習・研究に必要な情報を得るためには、大学図書館は欠かせません。大学図書館は、研究者によって生産された研究成果（学術論文・学術図書など）や、行政機関が公開している公式資料など、学術的情報を中心とした資料を収集し、それらを利用者に提供するという役割をもっています。

また、各分野の膨大な学術的情報を効率的に探索するためには、それらのタイトルや著者、概要などを収録・編集したデータベースや資料目録といったツールが作成されています。図書館は、これらの情報探索ツールも可能な限り収集し、多くの利用者に提供する役割を果たしています。

図書館は、様々な学術的情報と情報探索ツールとを備え、皆さんを求める情報へと橋渡しをするゲートウェイとなっているのです。 次頁図表 1-1 参照

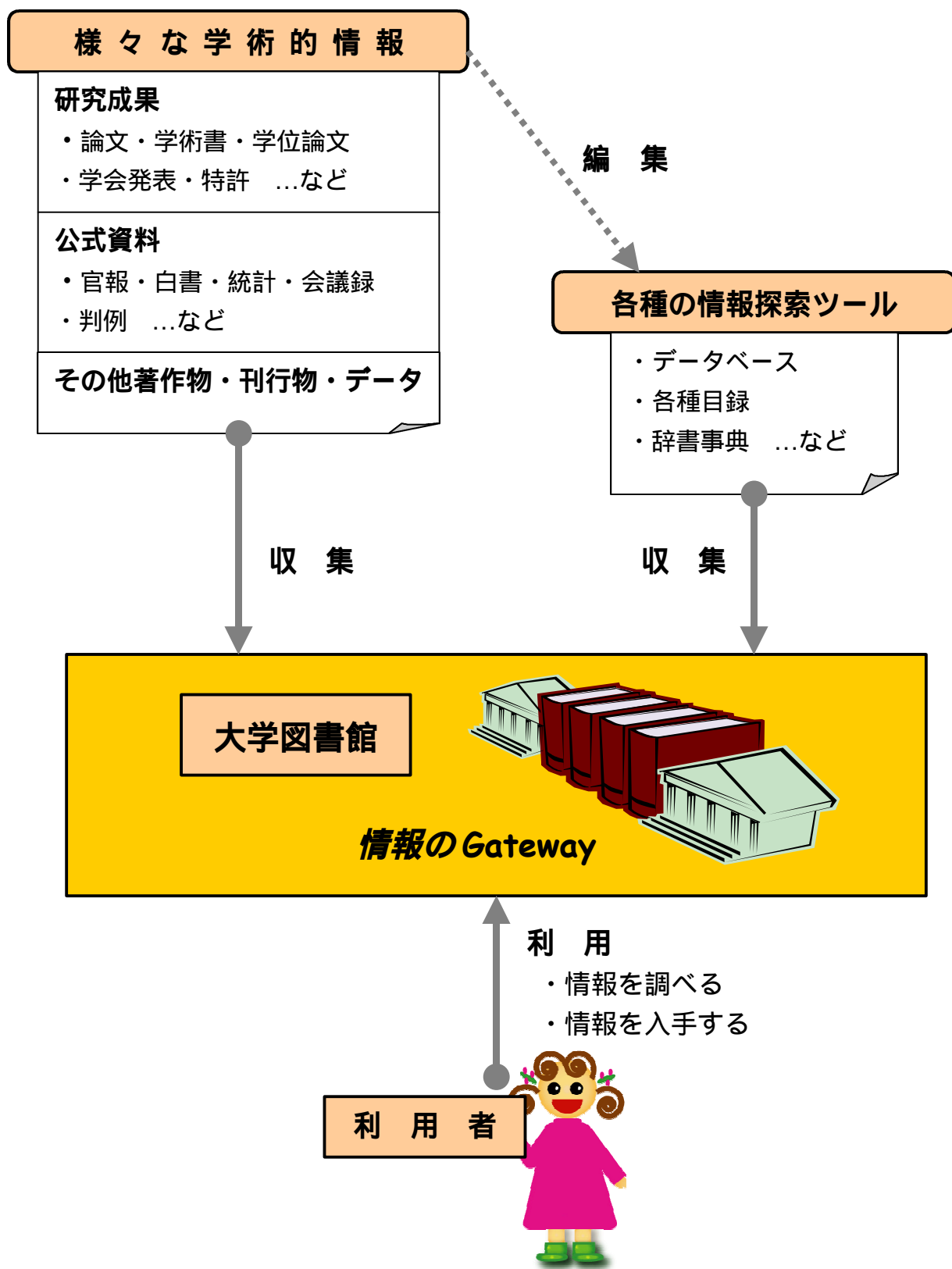
1.1.2 インターネットの位置付け

検索エンジンを使えば、インターネット上で無料で利用できる様々な情報を得ることができますが、それらが玉石混淆であることはご存知のことと思います。

印刷体の学術図書や学術雑誌を思い起こせば分るように、大学で利用する学術的情報の多くは、図書館などで購入した有料の資料です。また、有益な情報探索ツールの大半は、大学内で利用できるように購入した有料のものなのです。それらは通常、一般の検索エンジンから利用することはできないものとなっています。

さて、研究成果や公式資料などの学術的資料については、まだ印刷体の果たす役割には大きいものがあります。しかし、外国の電子ジャーナルに代表されるようにインターネットで利用できるものへ急激に切り替わりつつあります。また、図書館目録やデータベースなどの情報探索ツールについても、インターネットで電子的に利用できるものが主流となりつつあり、今や大学での学習・研究にはインターネットという環境は不可欠のものとなっています。 3章および4章参照

本書では、上記の状況を踏まえて、インターネットで利用できる情報探索ツールを中心に説明しながらも、それらだけでは十分でない場合は、適宜、印刷体のツールなども補足しています。上記のようなインターネットの位置付けを念頭においた上で、皆さんの学習・研究を進めてください。

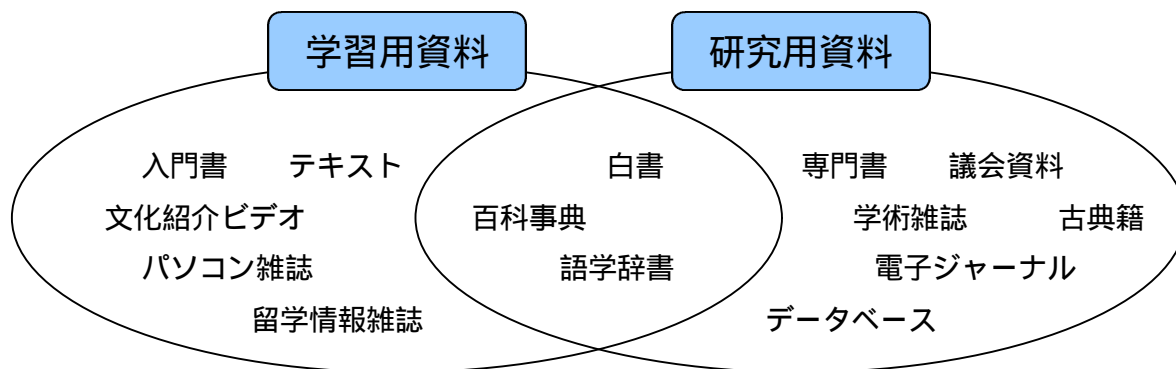


図表 1-1 大学図書館の役割

1.1.3 大学図書館の収集資料

大学図書館が収集して所蔵する資料は、学習用資料と各専門分野の研究用資料との大きく二つに分けられます。学習用資料の例としては、入門書や授業で使うテキストや参考資料、教養書、留学情報雑誌やパソコン雑誌、日本の伝統文化紹介ビデオなどがあります。研究用資料としては、専門書や学術雑誌、議会資料や統計資料、古典籍などがあります。百科事典、語学辞書、白書などは両方の性格をもっている資料といえます。

また、資料は印刷物とは限りません。マイクロフィルムやCD-ROMに収録されているものもあれば、インターネットで利用できるデータベース（4.3 参照）や電子ジャーナル（4.5 参照）などのような電子的利用が可能なものもあります。



図表 1-2 大学図書館の所蔵資料

各大学の所蔵資料は、その大学の学部構成により特色がでてきます。図書館はその大学の教育や研究を支援するためのものですから、おのずと重点的に集める資料が異なってきます。例えば、教育系大学の図書館では教育学に関する資料が、音楽系大学では音楽学に関する資料が充実しています。さらに大学によっては、他機関では見ることのできない、貴重な資料群（コレクション）を所蔵している場合もあります。

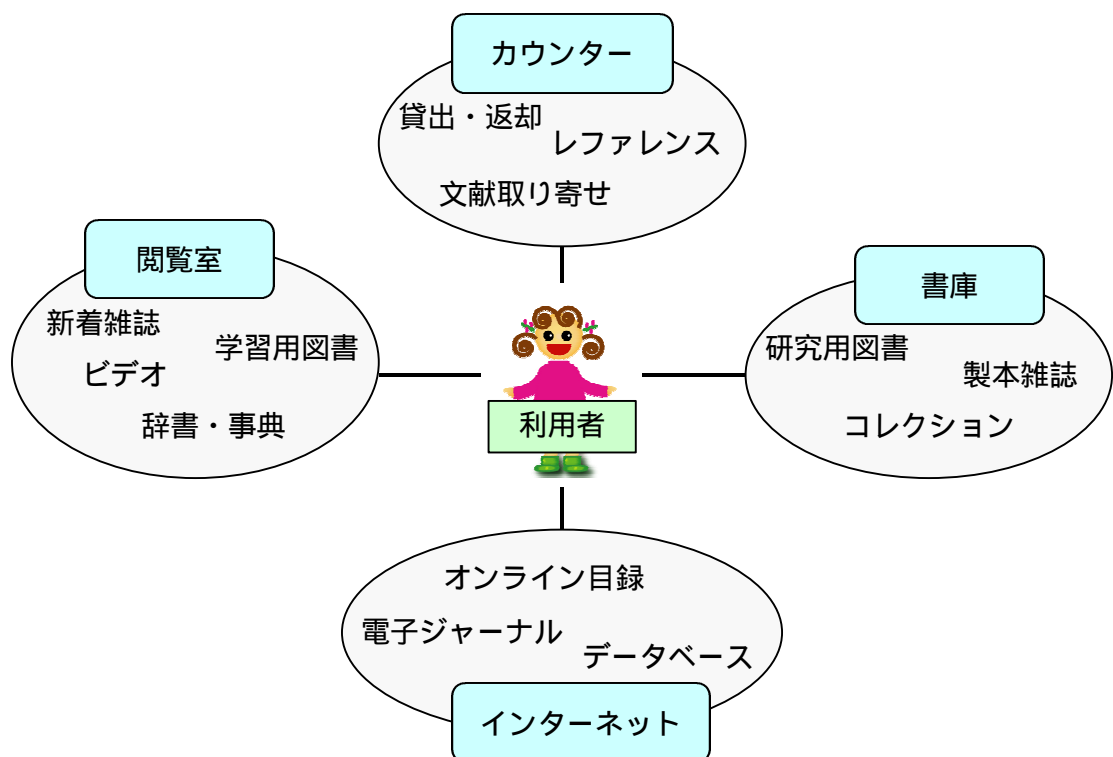
1.1.4 大学図書館の設備・利用

大学図書館では、学生が自由に利用できるよう、学習室や閲覧室などのスペースに多くの閲覧機を用意しています。閲覧室には、主に学習用資料がそろえられており、新着雑誌を展示するための雑誌コーナーなどがあります。ほとんどの大学では、研究用資料は閲覧室ではなく、何十万冊も収容できる別の書庫に置かれています。また、製本された古い雑誌や貴重なコレクションなども書庫に保存されます。

また、利用者が各種サービスを受けられるよう、資料の貸出・返却のためのカウンター、情報収集の支援を行うレファレンス・デスク、他大学などから文献複写を取寄せるための申込カウンター、所蔵資料の一部を複写するための複写機などがあります。

さらに、利用者が自分で所蔵資料の検索をするために、目録というものが用意されています。従来はカード目録でしたが、近年は利用者用のパソコンで検索できるオンライン目録が主流となってきました。これに加えて、電子ジャーナルやデータベースを利用するためのパソコンを用意する図書館も増えてきました。

さらに最近では、より便利に利用できるように、多くの大学図書館にて夜間開館や休日開館を行っています。また、来館しなくとも所蔵資料の検索や予約ができるよう、ウェブサービスの充実を進めつつあります。



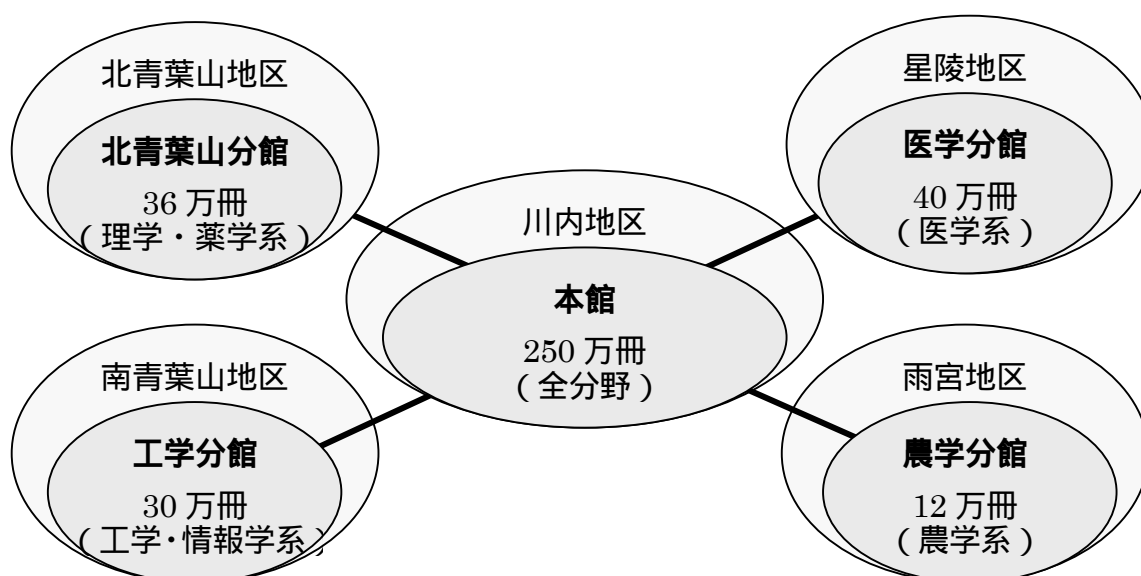
図表 1-3 大学図書館の設備モデル

1.2 東北大学附属図書館の概要と特色

1.2.1 図書館の構成と所蔵資料

東北大学附属図書館は、東北帝国大学創立4年後の明治44年(1911)に創設されました。創設当初、中央館(本館)だけであった図書館は、その後、学部やキャンパスの増加に伴って4つの分館が設置され、現在は下表の5図書館で連携したサービスを行っています。

本館は、全分野に関する学習用資料を所蔵するとともに、川内地区の人文・社会科学系研究者のための研究用資料を所蔵しています。その他の4分館は、それぞれの地区の専門分野に即した研究用資料を所蔵しています。



図表 1-4 東北大学の附属図書館

また、附属図書館のほかに、片平地区の研究所や各地区の研究科・学部には図書室が設置されており、それぞれ専門的な研究用資料を提供しています。

東北大学は大規模な総合大学であることから、学問分野全般にわたる資料を所蔵しています。所蔵冊数の合計は約370万冊となり、国内有数の大規模図書館となっています。

所蔵する資料のほか、文献検索のためのデータベースや電子ジャーナルの整備も進めています。これらは、東北大学内でのみ利用できるよう契約して導入したものであり、学外からは利用できないようになっています。

東北大学の学生・研究者は、以上の図書館すべてを利用することができます。それぞれの図書館により利用時間や利用規則・貸出条件が異なりますので、利用の際に確認してください。また、研究科等に附属した図書室の利用可否については、事前に各図書室に問い合わせてください。

- 『図書館室一覧・案内』東北大学附属図書館
(<http://www.library.tohoku.ac.jp/guide/guide.html>)
各図書館室の利用案内へのリンクです。

1.2.2 図書館コレクション

東北大学附属図書館は、通常の学習・研究用資料のほか、非常に貴重で全国的にも有名な資料群（コレクション）を所蔵しています。「類聚國史 卷第二十五」「史記孝文本紀 第十」という2点の資料は、国宝に指定されています。また、夏目漱石の旧蔵書・自筆資料などからなる漱石文庫、約10万点の古典籍からなり「江戸学の宝庫」と呼ばれる狩野文庫、約1万数千点からなる日本随一の和算関係資料なども著名なコレクションです（いずれも本館所蔵）。



図表 1-5 「漱石先生」岡本一平画 水彩 一幅（漱石文庫所蔵）

- 『コレクション』東北大学附属図書館
(<http://www.library.tohoku.ac.jp/collect/collect.html>)
東北大学附属図書館で所蔵している著名コレクションの紹介ページ。
コレクション中の一部資料の画像閲覧や資料検索ができます。

1.2.3 図書館のサービス概要

(1) 資料の貸出・閲覧

図書館内の所蔵資料は、閲覧および館外貸出が可能です。しかし、研究室に置かれている資料の利用については、研究者の了解が必要となりますので、図書館カウンターに申請してください。

(2) 資料の検索

目的とする図書や雑誌がどこにあるのか、どのような図書があるのかを調べるには、図書館の目録を利用します。東北大学では、オンライン目録を用意していますので、まずは図書館にあるパソコンで検索してみてください。古い時代の資料については、カードボックスの目録も調べる必要があります。3章参照

雑誌論文や新聞記事を調べるためには、データベースを使います。データベースを検索することで、どの雑誌や新聞に掲載されているかを調べることができ、その論文や記事を手に入れることができますようになります。4章、5章参照

(3) 情報収集の支援（レファレンス）

どのような文献があるか、ある事柄について何を調べたらよいのかなどについての支援を得るには、図書館員のいるカウンターに気軽に問い合わせてください。使うべき資料やデータベース、その使い方などを説明します。

(4) 他の図書館からの資料入手（相互利用サービス）

東北大学内で求める資料が入手できない場合、図書館を通じて他の大学図書館などから文献の複写を入手したり、資料そのものの貸出を受けることができます。このサービスの利用には、複写料金や郵送料などがかかります。4.6参照

(5) 利用説明会・講習会

図書館の利用方法やオンライン目録・データベースの使用方法を習得するための説明会や講習会を開催しています。日時などの開催内容については、本館・分館の掲示板やウェブサイトで通知しています。

1.2.4 図書館ウェブサービス

東北大学では、インターネットで利用できるウェブサービスの整備を進めています。図書館ウェブサービスは、図書館ホームページから利用できるようになっています。

(1) 図書館ホームページ (<http://www.library.tohoku.ac.jp/>)

図書館ホームページでは、図書館から提供している情報検索などのウェブサービスへのリンクのほかに、利用案内や概要、お知らせなどの図書館に関する各種情報を提供しています。



図表 1-6 東北大学附属図書館ホームページ

(2) オンライン目録

東北大学で所蔵している資料のオンライン目録は、『Online Catalog』と呼びます。『Online Catalog』には、学内蔵書だけを検索する「簡易版」に加えて、学外（日本国内の大学図書館）の蔵書を含めて検索できる「詳細版」があります。3章参照

また、漱石文庫や狩野文庫などの各種コレクションごとのオンライン目録もあります。その資料の一部は電子化されており、ウェブで画像を見ることができます。

(3) データベース（学内限定）

どのような文献があるのか、それがどの雑誌に掲載されているかなどを調べる時に使います。東北大学では、日本語文献を調べるためのデータベースは無論のこと、外国語文献を調べるためのデータベースを何種類も用意しています。4章参照

(4) 電子ジャーナル（学内限定）

東北大学と出版社との契約で、ウェブで利用できるようになっているのが電子ジャーナルです。学内であれば誰でもどこからでも利用できるようになっていますが、利用のルールに十分留意して利用する必要があります。4章参照

(5) オンラインサービス（学内限定）

文献複写の申込、購入希望図書への申込、自分の貸出・予約情報の確認などを行うことができます。このサービスのためのパスワードなどを登録する必要があります。

(6) リンク集

学習や研究上有益なウェブサイトを集めて、分野ごとに整理したリンク集を公開しています。

(7) 図書館利用案内

開館日・開館時間、利用方法、館内案内、図書館利用FAQ（よくある質問と回答）など、図書館を利用する上での基本的な情報や、所蔵資料の内容説明をしています。

(8) 学術情報ポータル

ポータルとは、「入り口」の意味です。このサイトは、図書館で作成・収集した学術情報に、研究者が効率的にアクセスするための入り口となることを目的としています。複数データベースの一括検索などの機能を備えています。



まめちしき インターネット利用のマナー

図書館の資料や設備は皆さんが共同で使うものなので、常識をわきまえて利用する必要があります。ウェブサービスや電子メールを利用する際も、同じようなマナーがあり、決して行ってはならないことがあります。具体的には、電子ジャーナルの論文を大量にダウンロードしたりする「著作権」を侵害する行為、公開された掲示板などで他者を誹謗・中傷をする行為などがそれにあたります。

東北大学からそのような行為がなされた場合、電子ジャーナルの供給が停止されるなど、大学全体の学習・研究活動に多大な影響を及ぼすこととなります。決してそのような行為をすることのないよう、マナーを遵守してください。

一般的なマナーに関しては次のウェブサイトで紹介していますので、参考にしてください。

- 『インターネットを利用するためのルール&マナー集』 財団法人
インターネット協会
(<http://www.iajapan.org/rule/rule4general/main.html>)

休憩コーナー



仙台みやげといえば？（１）

まずは「萩の月」でしょう。類似品も全国に多く存在しますが、こくのあるカスタードクリームはやっぱりいつ食べてもおいしいですよ。最初の帰省には、これをお土産として選ぶ場合も多いのではないのでしょうか。

白あんのお饅頭のような「支倉焼」は、ひとつひとつ手作りでそーっと作られているちょっと崩れやすいお菓子ですが、味は「おおっ」と感嘆するほど美味です。くるみが香ばしいんですね。

あと老舗で忘れてならないのは「白松がモナカ・ヨーカン」です。これは見た目は普通ですが、上品な甘さといい、歯ざわりといい全国に自慢できる逸品です。

なんとモナカの皮の材料となるお米は社員が田植えから稲刈りまで行い、栗ヨーカンに使われる栗も自社の栗園で栽培するというこだわりぶり。さすが「品質は語る・・・」をモットーとしているだけのことはありますね。

うわさによると白松の栗ヨーカンは「どこよりたくさん栗が入っている」そうです。これはもう食べなきゃ損ですね。また、このごろのおすすめは、一口サイズで食べやすいモナカと、挽茶や梅など新しい風味のヨーカンです。ぜひお試しを。